

V. 建築担当官制度の実態と効果

1. ALOの役割

警察における「環境設計による犯罪防止」の実務面を担っているのは、地方警察でArchitectural Liaison Officers、首都警察でCrime Prevention Design Advisors Confereと呼ばれる建築担当警察官である。

英国では、全ての警察官が犯罪防止の任務を担っているが、しかし近年さらにスペシャリストが必要なのではないか、ということでALOの仕組みが必要とされた。

ALOの役割は建築家やプランナーに、犯罪、防犯に関する色々な知識をもってアドバイスでき、犯罪の発生を抑えていくことである。しかし建築家というものは往々にして頑固に自分のポリシーを持っており、共存していくのは非常に困難な場合が多い。

建築家、プランナーと協議するためにも、ALOは建築的かつ法律的知識がないといけない。

彼らの養成は、Yorkにある犯罪防止大学校でなされ、その後、警察官としての出身地に戻って、それぞれの役割を果たす。役割の内容は、以下の表5-1の様である。

表5-1 ある建築指導官 (ARCHITECTURAL LIAISON OFFICER) の役割*

1. 犯罪発生状況の空間的状況から見た解析
2. 各種広報及び啓発活動
3. 各種専門家及びボランティア・グループとの提携活動
4. 家屋診断とその証明書(保険の割引)の発行

特に3及び4の点について述べると以下の様である。

<3. 各種専門家及びボランティア・グループとの提携活動について>

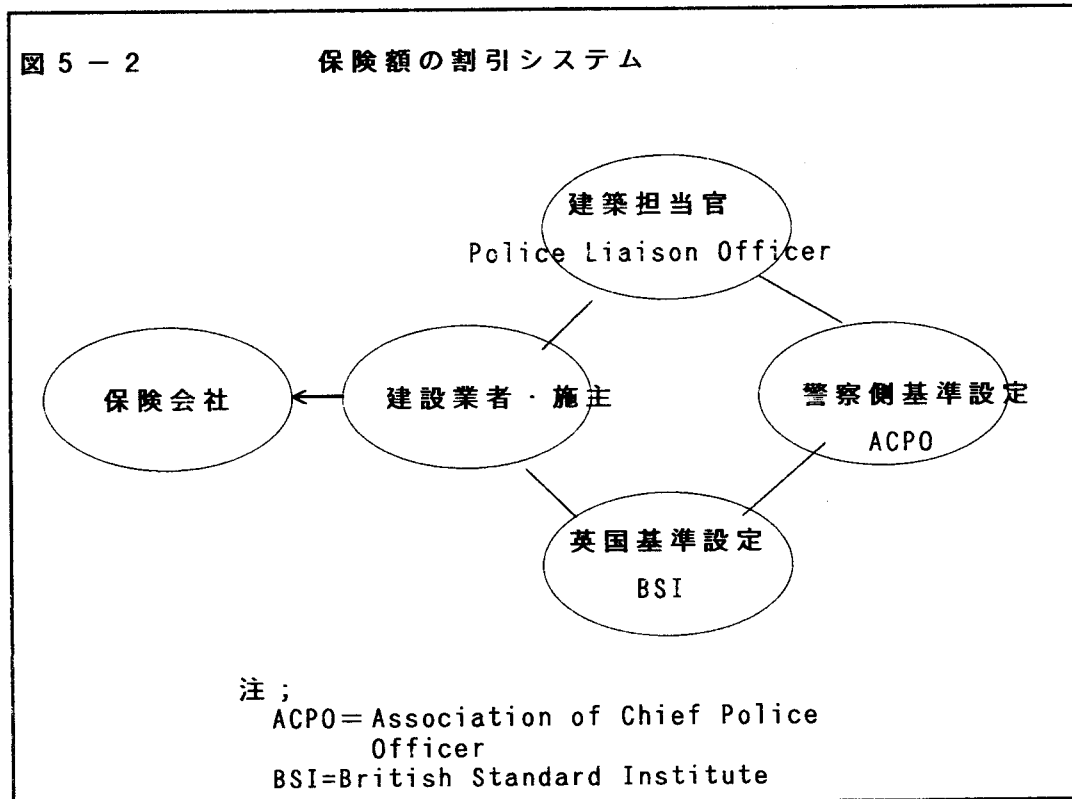
- ・重要なことは、普段から建築家及び研究者との関係を維持強化しておくことである。
- ・これらの建築家及び研究者は、ボランティアとして建築指導官と提携する。

<4. 家屋診断とその証明書(保険の割引)の発行>

- ・建築指導官は、建築業者から図面を貰い、その建物、及び敷地とその周縁の何処に防犯的施設・設備を導入するかを指示し指導する。
- ・建築業者は、その指示指導に従い、建て主とコストなどを相談しながら、最終的に導入内容を決定する。
- ・その導入内容に対し、建築指導官は、評価を下し、防犯面から見た建築物の証明書を発行する。これをもって、建築主、不動産業者は地域の事務弁護士(Solicitor)と相談して保険業者と保険の額を定める。
- ・建築指導官は、さらに建築後の建物の状況を視察し、今後の防犯建築の指導に生かす。

特に建築担当官の役割で重要なことは、環境設計面からの防犯指導と、新しく建てられる家屋の防犯診断とその証明書（保険の割引）を発行するという作業である。

実際に建築担当官は、英国基準協会（参考資料1参照）で定めた（British Standard=BS）防犯性の高い建築資材及び施設・設備が適切に採用されているかを図面のチェックによって確認し、その結果を損害保険の保険料率に反映させるという重要な役割を持っている（図5-2）。



2. 建築担当官養成システム

養成コースには2段階設けられている。

1) Standard Course

まず最初にStandardコースを2週間受講しなくてはならない。ここでは犯罪理論、物理的セキュリティ理論などを学ぶ。また実際にいかにして問題を解決するかという具体策を学ぶ。このコースの終わりには、現場に戻り、学んだことを実際に実践する。その後またコースに戻り次の段階のコースに入る。大学校で学んだことをいかに他のものに伝達できるか、ということも問われる。防犯にたずさわりたいというものは、必ずこのコースを取らなければならない。

2) ALO course/CPDA course

2週間のコースとその後の現場に帰っての実践の後、9ヶ月コースに入らなければならない。

ここではより技術的なことを学ぶ。

建築設計の際に防犯効果について、建築家、プランナーにアドバイスできなくてはならないので、設計図がきちんと読めなくてはならず、また建築関係の法律も理解しなくてはならない。さらにどのような場所でどのような犯罪がおきるか、ということも把握しておかねばならない。このコースでは、建築家、プランナー、ALOの講師も呼び、彼らのそれぞれのビューアの共通点やシェアできる点について学ぶ。

かつてはStandrdコースもALOコースも警察官が受講者であった。しかし最近では民間人も受講でき、ALOになることができるようになってきた。

ただし、民間人と言っても、全く関係のない仕事をしてきた人ではなく、防犯関係や建築関係の仕事をしてきた人、元警察に勤めていた人である。警察以外の人が入ってくるということで、また違った視点、広い視点で防犯というものを捉えられるという利点が生まれた。

3. ALOコースの目的

コースの目的としては、以下の点が挙げられる。

- ①コース終了後には、各所轄に戻りALO/CPDAについて説明することが出来る。
- ②基本的な規則や建築法を把握する。
- ③CPTEDの哲学を明確に把握する。
- ④建築家の設計についてCPTEDの視点を通して分析できる。
- ⑤図面から、その建物および周囲の環境が犯罪からどの程度安全か評価できる。
- ⑥建築家やプランナー、顧客にアドバイスが出来る。
- ⑦CCTVのシステムを把握する。
- ⑧CCTVを効果的にするための場所、個数などの判断ができるようになる。
- ⑨周囲の環境にとって防犯上効果的な照明とはなにか説明できる。
- ⑩安全な駐車場の設計について把握/評価できる。

(Crime Reduction College:2000)

4. ALOコース内容

主なコースの内容としては以下の通りである。

①ALOの役割の解説

- 環境設計に携わる個人、集団、機関の位置付け
- 環境設計に置ける犯罪の影響の解説

- ② 犯罪の影響にはどのようなものがあるか
- 財政面：維持管理、破壊行為、破産
 - 保健面：保険料の増額
 - 事業での損失：設備や備品の盗難により生じる
 - 心理面：職員のモラル、ストレス、病気、常習的な欠勤
- ③ ALOの役割把握
- 建築家や住宅開発業者に犯罪防止の原則を組み込むよう指導する
 - 個々の住宅開発についてその危険性を明確にし、適切な犯罪防止の指導を行う
 - 現存の環境を改善するため、促進剤の様な役割を担う
- ④ 制定法上のサポートの仕方を把握
- 政策指導の草案作成 (Town and Country Planning Act)
- ⑤ 関連専門家の把握
- 建築家
 - プランナー
 - 建築工学者
 - 土木技師
 - 機械工学士 / 電気工学技師
 - インテリアデザイナー
 - 風景デザイナー
 - 多数の監視者
- ⑥ CCTVシステムの把握
- ⑦ ALOが連携を図る人とは
- 個人営業の建築家
 - 地方自治体の建築家
 - 住宅協会の建築家
 - 企業設計者
 - デザイナーや住宅開発業者
 - 環境設計に興味をもっている、又は携わっている人全て
- ⑧ 環境設計に関し責任を担う人々とは
- 議員，プランナー，建築家，建設業者，エンジニア，住宅開発業者，監視者，警察
- ⑨ ALOが連携を図るその他専門家について
- リフトコンサルタント

- 交通コンサルタント
- 火災保険会社の役員
- 建物管理会社の役員
- 都市計画立案者
- 犯罪防止担当官

⑩ 将来の見通し

- 環境設計に携わる専門家としてのALOの認知
- 建築規制において最低限の安全基準の組み込み
- Secured By Design評価の継続について

(Crime Reduction College:2000)

5. プログラム

コースのプログラムは表の通りである。

Programme ALO Week 1

	Monday 22	Tuesday 23	Wednesday 24	Thursday 25	Friday 26
09.00-09.45	<p>Welcome & Administration Directing Staff</p>	<p>Crime Prevention by Environmental Design Gregg Lawrence</p>	<p>Planning Procedures Martha McGuire</p>	<p>Windows & Doors – Security Standards required by SBD. Stephen Town</p>	<p>Secured Car Parks John Welsh</p>
09.50-10.35	<p>Welcome & Administration Directing Staff</p>	<p>As Above</p>	<p>As above</p>	<p>As Above</p>	<p>As Above</p>
10.35-10.50	Coffee	Coffee	Coffee	Coffee	Coffee
10.50-11.35	<p>IT Facilities Revisited Simon Jones</p>	<p>As above</p>	<p>Building Control Bill Cass</p>	<p>Lock and Quay Calvin Beckford</p>	<p>Secured Car Parks Exercise.</p>
11.40-12.25	<p>Role of the ALO</p>	<p>As Above</p>	<p>Building Control Bill Cass</p>	<p>As Above</p>	<p>As Above</p>
12.25-13.30	Lunch	Lunch	Lunch	Lunch	Lunch
13.30-14.15	<p>Interpretation of Plans John McGrath / Steve Elsdon</p>	<p>Secured By Design Gary Fisher SBD/CPI</p>	<p>CCTV – The Basics Roy Salmon</p>	<p>Hardware Ray Temple</p>	
14.20-15.05	<p>As Above</p>	<p>As above</p>	<p>CCTV – O.R. Roy Salmon</p>		
15.05-15.25	Coffee	Coffee	Coffee	Coffee	
15.25-16.10	<p>Practical Exercise John McGrath</p>	<p>Secured By Design Exercise</p>	<p>CCTV Exercise Roy Salmon</p>	<p>The Effects of Lighting Peter Kane</p>	
16.15-17.00	<p>Practical exercise John McGrath</p>	<p>Secured By Design Exercise</p>	<p>As Above</p>	<p>The Effects of Lighting Peter Kane</p>	
Self Study	<p>Role of ALO</p>	<p>CPTED Theory</p>	<p>Planning</p>	<p>CPTED Theory</p>	

Programme ALO Week 2

	Monday 29	Tuesday 30	Wednesday 31	Thursday 1	Friday 6
09.00-09.45	Marketing and the ALO Matthew Last	Community Safety Implications Gordon Dixon	Practical Exercise Visiting ALO's	Presentations	
09.50-10.35	As Above	As Above	As Above	As Above	
10.35-10.50	Coffee		Coffee	Coffee	
10.50-11.35	As above	Terrorism Protection Methods Darrell Barber NTCPU	Practical Exercise Visiting ALO's	Presentations	
11.40-12.25	As Above	As Above	As Above	As Above	
12.25-13.30	Lunch	Lunch	Lunch	Lunch	
13.30-14.15	Negotiating Skills / Marketing	Project Outline Pat Varley	Practical Exercise Visiting ALO's	Personal Development Pat Varley	
14.20-15.05	As Above	Student Projects Pat Varley	As Above	Open Forum and Evaluation of Course Pat Varley	
15.05-15.25		Student Projects Pat Varley	Coffee	Coffee	
15.25-16.10	Exercise		Practical Exercise Visiting ALO's	Departure	
16.15-17.00	As Above		As Above		
Self Study	Self-Study	Self-Study	Practical Exercises		

6. 建築担当官制度の効果

かつて地方自治体は大きな開発をする場合、必ずALOのアドバイスを受けなければならなかったが、しかしまだ当時は強制力もなく、建築家がALOのアドバイスを無視するということもできた。

しかし1998年の犯罪公共秩序法によって、ALOに相談することが義務付けられるようになった。

また犯罪公共秩序法の成立後、防犯対策の立てられていない設計図は、破棄できるようになった。

法律成立以前は、防犯対策ができていないからこの建物はたててはいけない、ということはいえなかったが、犯罪公共秩序法17項に「防犯に対する配慮をしなければならない」という項目が入ったことで、拘束力ができたのである。

また、ALOのシステムができたおかげで、なぜこの建物が防犯的にだめかということ、論理的かつ合理的に説明できるようになった。

「ただし今でもALOのジャッジを無視することができるし、基準(British Standard BSIA)以外の鍵や窓をつけることはできます。決して法律違反ではない。しかし、保険料や、その後何かおきたときの警察や警備会社の対応が全く違うのです。だから英国では大抵の人々がBSIAの鍵や窓をつけるしALOのアドバイスにも耳を傾けるのです。」

(Martin Milburn談)

2001年3月5日 警察関係者を交えた都市防犯研究会にて)

ALOのジャッジに従ったことで得る利点は以下の通りである。

1. 基準に達していると言うことで保険の申請がしやすく、保険料も安い。
2. ALOのJudgeでO.K. ができると、建築許可をもらいやすい。
3. 建て売りの新築の家などでは、基準に達していると、信用があり、購入されやすい。
4. 基準に達していると言うマークをもらうと安全であるという保証になる。
5. ALOのアドバイスは無料であり、長い目で見ると相談するほうが得。

ALOはまず、実際に工事が始まる前に、基本設計図にジャッジをいれる。その時点で、防犯的配慮がなされておらず、改善の余地がある場合、Changeを示唆する。

<Judge →Change →Effect>

しかし、もしも、それによって効果がなかった場合、以下の要素に関してそれぞれ満たさない点があったこと実証できれば、施主はALOを訴えることはできる。

Judgeの際の主な基準は以下の4点ある。

Judgeの3R+C
Reasonable
Realistic
Risk
Cost (Effective)

(Martin Milburn:2001/3/5)

また、設計図の段階で指摘するのが一番だが、もう建ってしまっている建物に対しても、改装を指摘する場合もある。

ALOがまずその建物を見て、犯罪発生の原因を分析し、修繕する。

ALOのアドバイスと言うのは建築法にのっとったものだが、特に防犯の視点からアドバイスする。それが防災的に良くないものではあつてはならない。